



平成 29 年 5 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社ラウンドワン
代表者名 代表取締役社長 杉野 公彦
(コード: 4680 東証第一部)
問合せ先 常務取締役管理本部長 佐々江 慎二
TEL 072-224-5115 (代表)

業績予想と実績値の差異ならびに特別損失の計上に関するお知らせ

平成 28 年 11 月 10 日に公表いたしました平成 29 年 3 月期通期連結業績予想と実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成29年3月期通期連結業績予想と実績値との差異について（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 86,200	百万円 6,260	百万円 5,500	百万円 1,500	円 銭 15.74
今回実績 (B)	87,776	6,681	5,858	2,735	28.71
増減額 (B-A)	1,576	421	358	1,235	
増減率 (%)	1.8	6.7	6.5	82.4	
(ご参考) 前期実績 (平成28年3月期)	83,516	6,367	5,402	449	4.71

2. 連結業績予想と実績値との差異理由

親会社株主に帰属する当期純利益が業績予想に比べ1,235百万円増加の2,735百万円となりました。これは、既存店舗売上高の改善等により、経常利益が業績予想に比べ358百万円上回り、減損損失の発生が少なくなったこと等で特別損失が業績予想時の見積もりに比べ227百万円抑えられたことに加え、当連結会計年度に賃貸借期間満了及び自社競合解消の為8店舗を閉鎖したことに伴う過年度損失計上額の税務上の実現効果等により、法人税等合計が業績予想時の見積もりに比べ649百万円抑えられたことによるものであります。

3. 特別損失について

当社グループが所有する店舗設備について、減損の兆候が認められたことから「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき固定資産の回収可能性を検討した結果、減損損失1,480百万円を特別損失として計上いたしました。

4. 特別損失が業績に与える影響

上記に伴う業績への影響は上記の平成28年11月10日公表の平成29年3月期 第2四半期決算短信に記載の業績予想に織り込み済みであります。

以 上